

CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)吉塚5丁目計画 新築工事	階数	地上10F
建設地	福岡県福岡市博多区吉塚5丁目394-3	構造	RC造
用途地域	商業地域、工業地域	平均居住人員	135 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年8月 予定	評価の実施日	2022年5月9日
敷地面積	1,032 m ²	作成者	神川 あかね
建築面積	707 m ²	確認日	2022年5月13日
延床面積	5,241 m ²	確認者	馬場 奈美



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.6 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 138 (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: 94%

③上記+②以外の: 94%

④上記+: 94%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.1

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項		
総合 周辺地域との調和を図りつつ、生活利便性を高めた居住環境となっている。 入居者が安全に安心して暮らせるよう、コミュニティの充足を図り、居心地のいいシンプルな環境を整えた建物となっている。	その他 特になし	
Q1 室内環境 明るいエントランス空間とし、入居者が快適・安全に建物に入れるよう工夫している。 カーテン、庇によりグレアを制御して住戸の室内環境に配慮している。	Q2 サービス性能 耐用年数の長い配管を採用している。階高を高くし、居室空間にゆとりを持たせている。	Q3 室外環境(敷地内) 周囲の環境に悪い影響が無いように配慮したデザインを計画している
LR1 エネルギー ガス給湯器を高効率型を使用することにより、建物の設備による熱負荷を軽減している。 また、LED照明を採用して設備の省エネ化を図っている。	LR2 資源・マテリアル 0	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率を抑制し、地球温暖化への配慮がなされている。 広告物照明の設置は行っていない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される